

(別紙2)

奥村氏は、首都大学東京理事などを歴任していることから産学公連携や中小企業の状況に精通している。都産技研の理事長就任後は、東京都の産業振興に資する試験、研究及び技術支援に関する事業を適正かつ効率的に遂行し、中小企業ニーズに応えた機動性と柔軟性のある組織運営を行っている。

また、東京都と連携し、新たに中小企業へのIoT化支援事業、プラスチック代替素材を活用した開発・普及プロジェクトなどの先端的分野や社会的課題を解決する事業も開始した。

さらに、都産技研の内部統制強化のため、新たに内部監査室を設けるなど、コンプライアンスにも高い意識を持って取り組んでおり、これらの取組は東京都地方独立行政法人評価委員会委員からも高く評価されている。

そして、外部有識者（5名）に説明の上で意見を聴取し、候補者として異論はないとの意見を頂戴している。

以上より、奥村氏は都産技研の理事長として適任であると考えられることから再任する。